

都市計画法29条「開発許可」添付書類「線引前所有地自己用住宅」(自己居住用)

提出部数 正副2部

書 類 ・ 図 面 名		留意事項(よくある補正事項など)	チェック
1	申請書	宛名は「 白岡市長 」とする	
2	委任状	代理人による申請の場合に添付	
3	理由書		
4	公共施設の管理に関する同意申請書	私道等の場合は、その権利者又は管理者の同意書	
5	土地全部事項証明書	申請時前 6ヶ月以内 のもので最新の登記事項が記載されているもの	
6	土地・工作物の所有者の同意書	申請者以外の所有者がある場合	
7	土地・工作物の所有者の印鑑証明書	申請時前 3ヶ月以内 のもの 土地全部事項証明書と印鑑証明書の住所が違う場合は、転居がわかるもの(住民票など)も添付する	
8	土地・工作物の抵当権者等の同意書	例: 抵当権、根抵当権、賃借権、地上権、質権など	
9	土地・工作物の抵当権者等の印鑑証明書	申請時前 3ヶ月以内 のもの 登記上と住所が違う場合は、転居がわかるもの(法人登記簿謄本など)も添付する	
10	農用地除外証明書	申請地が農地の場合に添付	
11	申請地現況写真(カラー写真2方向以上)	区域朱書き及び撮影方向を図示(現況図や土地利用計画図に図示でもよい)	
12	都市計画図(原図又はカラーコピー)	区域の朱書き、方位、縮尺を記入	
13	公図の写し【法務局で取得した原本】	区域の朱書き、申請時前 6ヶ月以内 のもの	
14	敷地現況図 1/2, 500以上	区域の朱書き、方位、縮尺、杭の種別、土地利用の状況を記入	
15	求積図(三斜法または座標法) 1/500以上	区域の朱書き、方位、縮尺を記入、杭間距離を記入	
16	土地利用計画図 1/1, 000以上	予定建築物の配置と用途を記入 接道する道路の種類と幅員を記入 開発区域の朱書、方位、縮尺記入 ブロック塀等(既設・新設)がある場合は段数・構造記入 柵、排水管等の口径、材質記入 杭間距離を記入 土地の利用種別ごとに色分け	
17	造成計画平面図 1/1, 000以上	区域の朱書き、方位、縮尺を記入 切土は黄色、盛土は茶色で着色し、凡例を記入 BMの位置・高さ ブロック塀等(既設・新設)がある場合は段数、構造を記入	
18	造成計画断面図 H=1/100以上 L=1/500以上	切土・盛土をする前後の地盤高 切土は黄色、盛土は茶色で着色し、凡例を記入 擁壁等の工作物の記入 ブロック塀等(既設・新設)がある場合は段数、構造を記入	
19	排水施設計画平面図 1/500以上	貯留施設を複数設置する場合などは、排水区域の区域界を記入 設置する柵を全て記入し、配管も図示する(柵の設置間隔は、管径の120倍以内等) 柵、排水管等の口径、材質を記入	
20	排水施設の構造図 1/50以上	最終柵、雨水浸透柵、浄化槽認定シート等 道路側溝等に放流する場合は接続断面図(雨水の場合、接続管の口径は75φ以下) 最終柵・雨水柵の泥溜は、150mm以上確保する	
21	擁壁・土留の構造図 1/50以上	擁壁の場合は構造計算書・地耐力の根拠(ボーリングデータなど)を添付する 土留めにするブロックなどは、配筋(ピッチ等)を記入	
22	排水放流許可書等		

(裏面もご覧ください)

23	水路占用許可書、道路占用許可書		
----	-----------------	--	--

24	その他、許可権者が必要と認める書類	例：既設・新設ブロックが開発区域線上にある場合、隣地所有者の同意書など	
----	-------------------	-------------------------------------	--

審査項目	標準添付書類		
申請者は、新たに自己用住宅を建築する必要があること。	住民票		
	借家契約書		
	建物全部証明書又は家屋証明書（親と同居の場合）		
	転勤証明書（在勤証明書）		
開発区域は、区域区分時に申請者又はその親族が所有し、現在も継続して、申請者又はその親族が所有している土地であること。	区域区分時から現在の所有者まで継続して親族が所有しているか確認できる土地全部事項証明書、土地閉鎖謄本		
親族は、現在において6親等以内の血族又は3親等以内の姻族であること。	申請者と親族の続柄が確認できる戸籍謄本		

- ※すべての図面に、図面名・縮尺を記入してください。
- ※各設計図面には、作成者の氏名を記載してください。